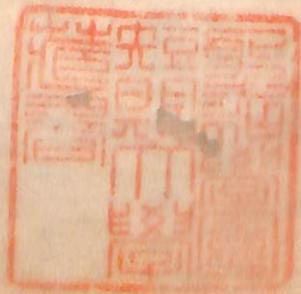


212
マ

亦
鳥
拾
翠

松
巖
拾
翠



瑞巖禪師傳



瑞巖禪寺略傳

爰ニ當山ノ天台宗ノ由來ヲ尋ルニ 八皇五十三代淳和天皇天長五戊申年圓仁大僧正ノ經始ナ
 リ圓仁姓ハ壬生氏下野國都賀郡ノ人敕宣ニヨリ近江國比叡山山王權現ノ神興ヲ奉守シ遙ニ松
 嶋ニ下着權現社今尙存ス震旦ノ四明山及江州ノ延歷寺ヲ寫シテ青龍山延福寺ト稱ス七郡ノ中
 ニ於テ三千ノ宿坊ヲ革創ス 仁明天皇承和五年年入唐同十四丁卯年歸朝貞觀甲申六年正月十
 四日僧正圓寂 清和天皇敕シテ慈覺大師ノ號ヲ賜フ爾來圓心覺心玄覺等ノ高僧住持 四條天
 皇曆仁元戊戌年鞍馬山東光坊ノ僧儀仁住持ス其頃寺畔ノ巖洞ニ一僧アリ法身ト云フ人ノ願門
 供養スルナシ法身ハ性西ト號ス常陸國眞壁郡貌島村ノ人俗名ハ眞壁那ヲ以テ姓トス平四郎ト
 稱ス幼年父母ヲ喪長シテ州牧ニ仕ヘ賤役ヲ執ル一日傳テ云年主ニ從テ行ク會々主ノ怒リニ值
 フ退一說ニ平四郎主ノ木履ヲ懷ニ温メ怒心終ニ木履ヲ以テ蹴ル履齒輔車ニ丁ツテ折シク是ニ於
 テ平四郎耻ヲ合テ潛ニ遁レ履齒ヲ懷ニシ入道ノ助緣トス遂ニ禪寺ニ投シ削髮シテ僧トナル法
 身ト改名シ諸國ヲ歴踏シ名師ニ參尋ス精修茲ニ年アリ偶マ商船ニ乘リテ大宋ニ渡ル臨安府ノ
 徑山ニ登リ無準佛鑑和尚ニ開示ヲ求ム和尚一ノ丁字ヲ圓相ノ中ニ書シテ示ス法身無學ナリ法
 身性堅硬ニ禪座ニ屈セス骨肉腫爛スレモ精思研窮撓マサル丁九年終ニ佛法ノ蘊源ヲ悟リ海
 ニ航シテ歸朝ス松島ニ來リ巖洞法身窟是ナリノ中ニ棲止ス紙衣草坐煖寒ヲ厭ハス一粥三四日ヲ經或
 ハ日ヲ累テ餐ヲ絶ツ此時天台ノ僧坊尙ホ一百所ニ下ラス然レモ慈覺大師創立以來四百十餘ノ
 星霜ヲ經テ細則日ニ紊レ法弊時ニ加フル甚シキハ酒肉ヲ飲啖シ色境ニ眩昧ス此時ニ丁ツテ副

元師北條時頼繫ヲ鏝シテ最明寺道崇ト號シ跡ヲ雲水ニ混シ潜ニ東西ヲ巡察ス後深神院寶治ニ
申年松島ニ經由ス日將ニ晡セシトス天台ノ僧舍ニ就テ一宿ヲ請フ主僧之レヲ固辭ス各坊次第
ニ請フ皆許サス或ハ呵罵シテ逐出シ或ハ奴僕ヲシテ追ハシム時頼逃レテ海濤ノ畔ニ至ル洞巖
アリ漸ク膝ヲ容ルヘシ忻然トシテ入ル洞中ニ一老僧アリ該法身蓬首垢而株枯シテ座ス然レモ
道貌凡ナラス眼光人ヲ射ル時頼鞠躬敬禮謂テ曰ク雲水ノ孤僧困甚レ日已ニ晡シテ方所ニ迷フ
道人願クハ慈愛ヲ垂レヨ老僧聲ヲ發シテ曰ク汝チ妄想スル莫レ夫レ沙門ハ三界ヲ睹テ旅宿ト
シ一心ヲ安シテ本宅トス更ニ誰ヲカ寶トシ誰ヲカ主トセント時頼思ヘラジ眞ニ得道ノ人ナリ
ト茲ニ於テ對應數回時頼敬禮シテ坐ス老僧曰ク吾ニ藥石ノ儲ナシ何ヲ以テ汝チ慰勞セン願フ
ハ飢ヲ忍ンテ煩惱スル莫レ時頼囊ヲ傾ケテ黃梁二三勺ヲ得メリ是ヲ瓦鉢ニ投シ燂シテ粥ヲ造
リ其半ヲ分テ老僧ニ供ス通曉清話シテ恰モ舊相識ノ如シ問テ曰ク道人此ニ住スルコト多少時ソ
老僧曰ク我レ春秋ヲ記セス造化ニ拘ラス性ニ任セテ逍遙シ縁ニ隨テ放曠タリト時頼頻ニ開示
ヲ求テ止マラス老僧乃チ徑山ノ心要ヲ以テ直指人心ノ妙道ヲ示ス時頼宿霧忽チ開ク由テ淹留夕
シ累ヌ別レニ及ヒ互ニ姓氏ヲ陽ハサス時頼鎌倉ニ歸リ三浦ノ大助三浦ノ儀成及一千ノ兵驍ヲ
遣シテ天台ノ僧徒ヲ擯驅シ巖窟ニ就キ物色シテ老僧ヲ求ム果シテ窟中ニ搜リ得タリ因テ精藍
ヲ改創シテ青龍山圓福禪寺ト號ス(延ノ字ヲ改ム)老僧法身ヲシテ住持セシメント欲ス師聽カス
然レモ平師屈請シテ遂ニ開山始祖トリ禪宗ト改テ時正元元巳未年ナリ爾來大覺々雄智覺々滿
明極等ノ高僧(唐僧)相踵テ視篆ス開山法身禪師ヨリ九十八世碧堂和尚ニ至ル迄三百四十有六歲

ヲ經過ス 後陽成天皇慶長九甲辰年八月仙臺舊藩祖中納言伊達政宗卿深ク禪ヲ信ス公吾カ領
地ニ一ノ香華寺ヲ建立セント欲ス幸ニ圓福禪寺ノ敗頽セシヲ以テ臣中村宗吉等ニ命シテ當山
ノ改造ヲ監護セシム是ニ於テ紀州熊野山ヨリ木材ヲ取り良工ヲ鳩ムル者總テ百三十余人中村
日向吉次ト云者ヲ擢テ都料匠ニ充テ創營セシム慶長十四年三月二十六日ヲ以テ上棟ノ祝儀ヲ
舉ク瑞巖圓福禪寺ト改唱シテ臨濟宗妙心寺派ノ法脈相承シタル住職ノ者ヲ以テ輪住地ト定ム
創メテ伊達家累代ノ菩提寺ト爲ス寛永十三丙子年五月二十四日政宗公薨去瑞巖寺殿前黃門貞
山利公大居士ト諡ス系嗣忠宗公義山公遺命ニヨリ雲居國師ヲ京華圓妙心寺ヨリ請シ當山九十
九世歷代中興開山トナシテ是ニ於テ凡百ノ叢規整肅公屢々法ヲ問フ宮田二十五貫ヲ割テ齊粥
ニ充テ山林江海ヲ附シテ受用ニ便シ疆界ヲ封定シテ四方一里戈釣ヲ禁ス是ニ由テ五湖ノ雲水
風ヲ聞テ體謁スル者渴驥ノ泉ニ赴カ如シ或ハ岩穴ニ棲ミ濕瘡ヲ患フレトモ屹乎トシテ避サル
者アリ忠宗公之ヲ聞テ數間ノ僧舍ヲ經營シ且ツ五十石ヲ寄附シテ衆僧ニ給セラル末寺五十八
ヶ寺塔頭十三ヶ寺アリタレトモ戊辰ノ風濤棟梁ヲ吹倒スル者十余ヶ寺當山モ亦々法當前ニ草
色堆ヲ成シ佛殿後ニ野狐聲アルノ境ニ至ル然ニ明治九年五月 今上天皇東巡アラセラレ行在
所トナシ玉ヒシ時荒廢ノ景况御親覽被爲遊御遺憾ニ被思召是ニ由テ特旨ヲ以テ御內庫金壹千
圓ヲ下賜セラル於是寺觀復々新ナリ由テ碑文ヲ寺畔ニ刻シテ美事ヲ不朽ニ傳フ慈覺大師創立
以來當年迄一千〇六十二歲法身禪師再興ヨリ六百三十一歲黃門公改建ヨリ二百八十一歲ヲ得
タリ實ニ東國無二ノ靈窟桑海無双ノ禪林ナリ

一 毘沙門天 立像ハ慈覺大師ノ作左右ノ位牌ハ政宗公追腹二十人忠宗公追腹十六人併テ三十六人ノ追腹ノ位牌ナリ

政宗公追腹二十人姓名

- | | | | |
|------------|---|--------|---------|
| 石田將監 | 佐藤内膳 | 南治郎吉 | 菅野正左衛門 |
| 入生田三左衛門 | 杉山理兵衛 | 青柳傳右衛門 | 大槻喜右衛門 |
| 小野仁右衛門 | 矢目伊兵衛 | 茂庭采女 | 青木忠五郎 |
| 賀藤十三郎 | 喜齊 | 桑折豐後守 | 東海林茂傳次 |
| 黄山覺内 | 加藤三右衛門 | 渡邊權之丞 | 小平太郎左衛門 |
| 忠宗公追腹十六人姓名 | | | |
| 古内主膳 | 遠藤九郎兵衛 | 平田長右衛門 | 花見滿阿彌 |
| 木名瀬小右衛門 | 鈴木文右衛門 | 中山藤右衛門 | 鈴木一角 |
| 田中勘左衛門 | 油井茂兵衛 | 後藤十兵衛 | 工藤與喜右衛門 |
| 小野寺清右衛門 | 笹原鹿之助 | 芝原角右衛門 | 矢野又左衛門 |
| 一 墨繪ノ間 | 襖ノ繪ハ寒山拾得猪頭龍虎ハ吉備公益並ニ狩野法眼三樂及同法眼信高等ノ合筆ナリ | | |
| 一 白菊ノ間 | 掛物秋葉山金毘羅山ハ禪宗中興ノ名アル駿河國原驛白隱和尚ノ筆襖ノ繪白菊ハ狩野法眼孝信ノ筆ナリ | | |

- 一 松櫻千鳥ノ間 掛物ハ阿耨觀音大士狩野法眼探幽ノ御筆襖ノ繪ハ狩野法眼信高ノ筆ナリ
- 一 鷹ノ間 掛物東ハ出山ノ釋迦如來西ハ隻履ノ達摩大師畫工宋雲ノ筆中興開山雲居國師ノ贊ナリ裏板ハ構子合天井襖之繪ハ狩野法眼三樂ノ筆ナリ此間ニ辨慶背負ノ不動ヲ安置セリ智證大師ノ作ニシテ辨慶ノ所持セシモノナリ
- 一 室中孔雀間 正面ニ安置シタルハ仙臺舊藩祖中納言伊達政宗卿ナリ尊像ハ甲冑ノ御裝束其側ノ立像ハ胡銅ノ聖觀世音天竺ヨリ傳來黃門公ノ御念持佛ナリ左右ノ位牌ハ伊達家累代ノ御靈牌室中欄間ノ彫刻ハ雲ニ天人極彩色中村日向ノ作裏板ハ花構子合天井四天ノ幘ハ綾錦襖ノ繪ハ狩野法眼古永德並ニ長谷川利種十七歳ノ筆ナリ
- 一 文王ノ間 正面ハ雲居國師左右ハ法身禪師洞水禪師當山三代ノ開山ナリ襖ノ繪ハ周ノ文王御狩ノ處(巡狩)狩野法眼左京ノ筆裏板ハ構子合天井從前國主ノ御成座敷ナリ同間入口ノ額ハ覺範虎哉禪師ノ筆跡ナリ
- 一 玉座 上々段ノ間ト稱ス東福門院造ル所口六千躰ノ一ナル大悲千手尊ヲ安置ス裏板ハ花蔓構子合天井襖ノ縁リハ蜀紅ノ錦雲ニ天人ハ長谷川利種ノ筆欄楹障窓金銀ヲ彫鏤シ花鳥ヲ畫刻シ意匠精密他室ト異ニス政宗公自ラ御座ノ間ト稱シ何人ト雖モ入室ヲ許サズ明治九年今上天皇東巡アラセラレシ日奉シテ鳳座トナス蓋シ黃門公豫メ今日アルヲ知ル者乎玉座ノ次間ニ圓滿ノ二字額ハ伊達吉村公ノ眞跡ナリ
- 一 玄關 裏板ハ構子合天井欄間ノ彫刻ハ竹ニ虎松ニ仙人葡萄ニ木鼠左甚五郎小刀一丁ノ白木

細工ナリ宋ノ經山寺玄關ノ圖ヲ取リ作りタルモノナリト云傳フ

一本堂 縱十四間横二十一間四尺総欄間ノ彫刻ハ大鼓ニ鷄鶴ノ巢子守牡丹ニ耳ツク桐ニ鳳凰龍虎ノ争桐ニ鳳凰牡丹ニ孔雀紅葉ニ鹿菊ニ金鷄牡丹ニ金鷄牡丹ニ孔雀中村日向吉次ノ作意趣精妙ヲ極メ彩色ニ於テ盡ス

一庭前 燈籠ハ南蠻鐵政宗公嘗テ日光ニ献セント欲シ試ニ鑄ル小ナルヲ以テ止ム献東照權現寶前云々トアリ五葉松八房梅紅白ニ株アリ重瓣ニテ香氣多シ葩ノ間又葉アリ一輪ニ八箇ノ葉實ヲ結フ政宗公朝鮮征討ノ節携ヘ歸リ手自ラ植付ラレタルモノナリ

一無相窟 俗ニ法身藏ト唱フ開山法身禪師棲止ノ處時頼ト對話ノ地ナリ窟中ニ雲居國師行狀ノ碑アリ當山百五世天嶺和尚ノ選スル所ナリ前ニ開山法身禪師ノ座像ヲ安置ス側ラニ一碑アリ最明寺副元師平時頼道崇大居士弘長三年癸亥十一月二十二日トアリ嘗テ遺髮ヲ辨ムルト云傳フ窟前ニ吳道子揚柳ノ觀音菩薩ノ大碑二個アリ

一羅漢之間 小形ノ黃門政宗公ヲ安置ス襖ノ繪ハ作間得郎ノ筆此ノ間ニ寶物古器物等ヲ陳列ス人皇五十三代淳和天皇天長五年戊申歲ヨリ今明治廿七年迄千八百 年ノ星霜ヲ經ルモノナリ

瑞巖寺二十四世持命住職南天捧中原鄧州閱見

第壹號長持

一 涅槃 像 狩野元信之筆 (大壹幅)

一 釋迦說法圖 筆者不詳 (全)

一 五百羅漢像 鎌倉月橋之筆 (大五幅)

一 聖觀音像 狩野探幽之筆 (大壹幅)

一 觀音畫像 狩野探幽之筆 (大壹幅)

一 出山釋迦像 周文之筆 (大壹幅)

一 觀音畫像 牧溪之筆 (小壹幅)

一 觀音畫像 林丘内親王筆 (中壹幅)

一 彌陀之像 惠心僧都之筆 (中壹幅)

一 出山釋迦像 雲居國師ノ贊 (大壹幅)

一 隻履之達摩 宋雲之筆 (大壹幅)

一 金紙金泥三十三觀音 自畫自贊 長州文從昌筆折本 (大壹幅)

一 出山之釋迦 狩野永真之筆 (大壹幅)

一 猪頭和尚 全 (全)

一 蜺子和尙 全 (全)

一 寒山之圖 空也上人ノ字贊榮雪之筆 (中壹幅)

- 一 隻履達 廣
- 一 黃檗木菴石字題
- 一 紺帟金泥般若經
- 一 法華經
- 一 法華經
- 一 紺紙金泥法華經
- 一 紺紙金泥方便品
- 一 承應三年倫旨
- 一 秋葉山名號
- 一 金毘羅山名號
- 一 白隱和尚自畫贊
- 一 享保十九年宸翰
- 一 寬文帝仙洞法皇勅書
- 一 いろは
- 一 佛舍利ノ記
- 一 鷲驢橋上ノ圖
- 一 佛舍利寄進狀

- 雲居國師ノ贊一景之筆
- 弘法大師之筆
- 朝鮮版
- 大明版
- 田村泰平寺法印鏡豪
- 吉村公之筆
- 雲居國師禪師號
- 白隱禪師之筆
- 白隱禪師之書
- 味噌鳥摺鉢
- 雲居和尚國師號
- 甘露寺殿御文伊達吉村公御添筆
- 青蓮院宮尊純親王筆
- 當山四十七代貞治五年丙午上元日
不肖住持高岳叟守原書
- 一休和尚自畫贊
- 鎌倉二位尼御文

(全)
 (卷一)
 (橫本八卷)
 (折本八卷)
 (卷八卷)
 (折本八卷)
 (橫物壹幅)
 (中壹幅)
 (全)
 (橫物中壹幅)
 (天拾幅)
 (橫中一幅)
 (小卷)
 (橫物)

- 一 天台田緒記
- 一 三十三躰金剛全書法
- 一 法身禪師像
- 一 大覺禪師像
- 一 明極禪師像
- 一 覺滿禪師畫像
- 一 臨濟禪師畫像
- 一 妙心開山國師畫像
- 一 碧岩無邊風月集
- 一 百歌念佛
- 一 雲居國師遺囑
- 一 洞水禪師坐禪圖
- 一 吉村公圓滿明王大字
- 一 富士見西行ノ圖
- 一 山
- 一 雜
- 一 山

- 當山五十代茂林和尚筆
- 江府海福寺ノ版
- 明極和尚之贊
- 東京隣祥院峨山禪師贊
- 洞水和尚ノ贊
- 梅鳩廬主尼了是刺綱
- 雲居國師自筆
- 自筆
- 吉村公依命
- 額面之本書
- 伊達綱宗公ノ筆
- 黃檗隱元禪師八十一才題字
- 探幽之筆
- 全

(小壹幅)
 (折木)
 (中壹幅)
 (全)
 (中壹幅)
 (中壹幅)
 (橫物)
 (小壹幅)
 (橫物)
 (小壹幅)
 (小壹幅)
 (大壹幅)
 (大壹幅)
 (天壹幅)
 (天三)
 (天)
 (天)
 (天對)

- 一 三十一首和歌
- 一 竹色大書
- 一 陽徳院御文
- 一 松壘八景歌
- 一 政宗公松ノ歌
- 一 福浦島密書御詠歌
- 一 前妙心東陽惠超禪師小參
- 一 大林普通國師墨跡
- 一 大雅堂之書
- 一 玉蘭山水畫
- 一 宮本武左志山水畫
- 一 金華山之圖
- 一 吉村公御詠歌
- 一 十六善神圖
- 一 授戒會本尊併ニ三千佛
- 一 雲居國師像

第貳號長持

- 伊達家五代吉村公ノ筆 (卷物)
- 伊達政千代君六歳ノ筆 (横物)
- 政宗公與方之筆 (全)
- 吉村公自作筆 (卷物)
- 自詠自筆 (中一幅)
- 吉村公御詠歌周長ノ書 (小一幅)
- 東陽和尚自筆 (全)
- 偈頌小切 (横物)
- 南山古梁禪師自書自贊 (中一幅)
- 五首 (卷物)
- 抱雲筆 (中一幅)
- 本尊ノ幅ハ當山百二十四世鄧州和尚ノ筆 (中三幅對)
- 源徹宗ノ筆 (大一軸)

- 一 書寫法華經
- 一 全法華經
- 一 全法華經
- 一 華園法皇御繪
- 一 後醍醐天皇大燈國師
- 一 宗派之圖
- 一 松島歷代住持名籍
- 一 松島歷代住持名籍
- 一 大覺禪師
- 一 常山百世洞水和尙
- 一 當山百二世大嶺
- 一 雲居國師墨跡
- 一 政宗公之畫像
- 一 全公與方陽徳院殿
- 一 雲居國師壁書
- 一 義山公壁書威狀
- 一 岩切城主之書

- 肥前村尼惠三三氏ノ筆 (横物)
- 山岡志洲大守ノ后室 (横物)
- 延寶三年松壽院徳雲妙光尼ノ筆 (折本)
- 花園帝御書寫ヲ題 (小一幅)
- 眞書ノ寫シ (横切)
- 從達广大師雲居和尚筆 (横物)
- 至一街禪師 (横物)
- 自法身禪師 (横物)
- 至洞水禪師 (横物)
- 從洞水禪師 (横物)
- 至雲洲禪師 (横物)
- 鄧州和尚筆 (中三幅對)
- 靈鏡像 (中一幅)
- 告報示未山僧侶ノ書 (横物)
- 偈頌自筆 (横物)
- 臥輪禪師ノ偈ヲ書寫 (中二幅對)
- 雲居國師題字 (小一幅)
- 遺號ノ記雲居國師ノ筆 (壹卷物)
- 制札壹通 (壹卷物)
- 日向守政景公御書 (壹卷物)

- 一 政宗 公自筆書
- 一 吉村公五大堂寄附之書
- 一 吉村公瑞巖入院開堂之書
- 一 吉村公五大堂額字
- 一 吉村公之御真筆
- 一 伊達家系圖
- 一 雪竇禪師三寶銘
- 一 弘法大師小野道風額面集
- 一 芙蓉容
- 一 赤壁賦
- 一 堂上方ノ書像
- 一 杜鵬ノ書像
- 一 橋之畫狀
- 一 瑞巖寺水元圖
- 一 從一位伊達公ノ碑文
- 一 當山百二拾二世太陽和尚
- 一 書寫法華經

營山百五代天嶺和尚頂戴分
 願 手 帡 貳 通
 石 額 面 寫カゴ 摺
 釋 萬 安 書
 堀 江 治 郎 齋 書
 色 帡 短 冊 之 類
 貞山公百年忌追歌
 貞山公百五拾年忌追歌
 大給恒撰并ニ書
 遺 田母神重郎筆
 (各幅)
 (大一幅)
 (中一幅)
 (卷物)
 (卷物)
 (卷物)
 (帖)
 (帖)
 (小一幅)
 (大一幅)
 (小一幅)
 (橫物)

- 一 白隱禪師ノ墨跡
- 一 吉村公ト天嶺和尚
- 一 法華經
- 一 綱村公御書
- 一 吉村公御書
- 一 吉村公十首ノ詠歌

親ノ大字
 往 復 文
 遠 轉 光子寄進
 天嶺和尚頂戴ノ分
 雲居國師號ノ件
 貞山公百年忌ノ件
 貞山公ノ御遺著
 (橫物)
 (二通)
 (折本)
 (橫物二通)
 (卷)
 (卷)

第參號長持

第一世	瑞巖寺殿	貞山利公	政宗卿	二重篋入	畫幅
第二世	大慈院殿	義山仁公	忠宗卿	同	同
第三世	見性院殿	雄山威公	綱宗卿	同	同
第四世	大年寺殿	旨山提公	綱村卿	同	同
第五世	續燈院殿	蝦山活公	吉村卿	同	同
第六世	政德院殿	忠山信公	宗村卿	同	同
第七世	叔明院殿	徹山機公	重村卿	同	同
第八世	永慶院殿	桂山榮公	齋村卿	同	同
第九世	青龍院殿	沼山隆公	周宗卿	同	同
第十世	廣德院殿	英山高公	齋宗卿	同	同

第十一世 曹源院殿 正山因公 齋義卿 同
 第十二世 慈雲院殿 龍山珠公 齋慶卿 同
 陽徳院畫像 初代政宗公ノ奥方 二重篋入 壹 同
 以上拾三點

第六號縦覽之部

イ 佛舍利 釋迦牟尼如來ノ 一 粒 瑠璃青色黒赤ノ三色平 鎌倉將軍源頼朝公奥方ノ三角形ノ大顆水晶ノ二位尼政子ヨリ見佛上人ヘ塔高サ二寸三分厨司入 寄贈ノ文章アリ什寶

釋迦如來ノ 一 粒 白色圓形ノ大顆昔日 姿羅門衛正將來ノ處 行基菩薩護持ノ傳來

頂骨舍利 一 粒 白色米形ノ大顆唐國ノ醫壬山ノ衆徒ヨリ我朝平 重盛卿ヘ送附又平重盛卿ニ泉州舍利山法樂寺ヘ奉納

胸骨舍利 一 粒 黄色米形ノ大顆 靈光院大上法皇 御護持ノ傳來

指骨舍利 一 粒 白ノ細粒圓形昔日傳教大師將來ノ處 全玄阿闍利佛信印弘覺大師稟承 吉川家ヘ三百年來傳來秘藏

釋迦如來 拾 粒 以上十三顆共ニ丸形ノ玉金輪付ノ厨司入 山城國綴喜郡新野吉川信近ヨリ當山百二十四世鄧州大禪師ヘ寄贈故ニ加什寶也

ハ 舍利塔 天笠木小堀細工一 箇 伊達家二代伊達忠宗卿 御寄附

ニ 舍利 白黃赤等ノ大 圓形米形平形 二百五拾粒 當山百二十四世持命中興鄧州禪師三十年來 偏座中ニ所々ニ拜請舍利加什寶 天笠木ノ舍利塔ニ納ム

ホ 毘沙門天 立像厨司入 壹 躰 千八拾年以前ヨリ天臺改宗ノ時護摩堂ヘ 安置ス 四天王ノ一躰ト傳フ 什器

ヘ 役小角 高サ一尺八寸 詳 壹 躰 七百年前ノ作ト云傳フ 當山什器

ト 妙童鬼 高サ九寸五分 詳 壹 躰 全 斷 全 斷

チ 前童鬼 高サ八寸三分 詳 壹 躰 全 斷 全 斷

リ 阿難尊者 木佛立像 七寸五分 詳 壹 躰 年歷不詳 當山什器

ル 翁 佛工春日作 銘記アリ 壹 箇 松島寺天台宗ノ時春瑞アリテ翁島ニ現ス 而相莞爾トシテ唱フカ如シ

ヲ 能 面 正和年間品 十八 箇 千有余年天台宗 時五大堂ニ於テ神樂ヲ奏スルニ 用ヒタル能面アリ尤モ瑞岩寺ノ如キハ容貌醜鬼 ノ如キアリ其内翁アリ媚アリ種々容貌アリ何レモ 松嶋寺秘藏品ト傳フ

ワ 拂子 金毛獅子毛一尺二寸 柄深堀八寸五分 壹 握 開山法身禪師七百平前大唐國徑山ヨリ歸 朝際ニ無準佛鑑禪師ヨリ傳フ

力 柱 杖 唐木柱 丈ク五尺一寸五分 壹 本 開山法身禪師歸朝ノ節無準佛鑑 禪師ヨリ傳フ

ヨ 欄干キボシ 古一尺二寸五分 鐵製 圓徑五寸五分 壹

夕 防火鈴 古銅唐金 圓徑五寸 壹

レ 巡 鐘 古銅唐金 圓徑四寸五分 壹

ソ 雲 板 古銅唐金 圓徑二尺九寸 壹

ツ 三重塔 古銅唐金 高サ九寸七分 壹

子 推朱木香合 圓徑四寸 壹

ナ 硝子瓶 水壺 圓徑四寸 壹

ラ 硝子燭臺 種々錦アリ 丈一尺二寸 貳

ム 古瓦 丈一尺九寸 壹

ウ 火用心 板榜彫刻 丈一尺 壹

井 畫馬 古金地墨畫 丈一尺七寸 貳

ノ 政宗公木像 甲胃ノ小像 丈一尺五分 壹

ヲ 鐵片端 南蠻鐵紺糸 威質素實 丈一尺 壹

ク 薄茶碗 白色ノ高麗燒 圓徑三寸五分 壹

ヤ 同 茶ハ瓔珞形色 銘サハ二寸八分 圓徑三寸六分 壹

マ 薄茶碗 黑色ノ山ノ銘 高サ二寸三分 圓徑四寸 壹

ケ 棟上ノ記 慶長十四年三月 高サ一尺三寸三分 巾一尺三寸二分 壹

フ 禁制札 慶安戊子年 高サ一尺七寸八分 巾三尺八寸三分 壹

筒 往古坂上田村磨將軍五大堂建立ニ係ル附屬品 鹽釜町太田與三郎秘藏品當山へ緣故ヲ以テ松 平正直知事該家ヨリ申請テ當山へ奉納ス

口 當山六世住職唐僧空岩覺滿禪師當山へ往セシ時一 日唐ノ徑山ニ火災アリ吾カ秘呪ヲ以テ之ヲ救フ ナリト其後徑山ヨリ前年ノ所呪ヲ謝スト申テ贈ル 形チ鐘ニ似タリ毎歲除夕一僧之ヲ類ニシ村中ヲ鳴 巡シ以テ火難ヲ祈禱ス

口 明治十八年中松島小松崎ニアル當山古代住職大夢 和尚入定ノ宮中ヨリ出ル

筒 嘉曆元年當山第十世唐僧明極和尚寄附 銘日 住持明極誌以上ノ文字記ス 嘉曆丙寅秋

筒 當山十世唐僧明極和尚所持品

筒 當山第十世唐僧明極和尚所持品

對 當山開基伊達政宗公へ羅馬國ヨリ 羅馬王贈附ノ品當山へ奉納

枚 八百年前ノ品ニシテ多賀城并ニ中尊寺 光り堂等ノ瓦ノ種類ナリ 明治廿六年七月中普清ノ節五大堂棟上ヨリ出ル

枚 是ハ世人呼防火神ト云フ字体尋常ナラズ 秋葉權現三尺坊神跡ト傳フ 摺物ニシテ施行ス

枚 慶安三年狩野玄徳五大堂へ奉納 牛齋唐犬ノ二枚

軀 當山百世洞水和尙内佛へ 安置

片 伊達黃門政宗朝鮮征伐ノ時ニ御 召料ノ品ニ付當山へ奉納

筒 伊達黃門政宗朝鮮征伐ノ節ニ奪取歸 入朝ス故ニ二代忠宗公ヨリ當山へ奉納

筒 政宗朝鮮ヨリ持テ歸リテ忠宗公ノ北方へ賜ノ品北 方ノ所持品天工質愛スベキ器ニシテ當山へ奉納

筒 政宗朝鮮ヨリ持テ歸リシ品 入 二代忠宗公ヨリ奉納

面 仙臺北山覺範寺開山虎哉禪師眞筆 寺内禁止四ヶ條ノ制札

枚 開山雲居國師ノ眞筆

コ 傳法衣 麻袈裟七條一

エ 直綴麻巾ノ紫衣一

テ 蜀紅傳衣 二十五條袈裟一

ア 黃地ノ傳衣 黃地緞子七條一

サ 夏傳衣 金蘭切交九條一

キ 硯 若狹國産一

ユ 伽羅下駄 裏黒木塗地 表一七寸片

メ 冷蚊帳 高サ一丈四寸 横巾一丈一尺六寸 堅巾六尺七寸 四方縁リ房附

ミ 土人形 立像古代婦人ノ姿 高サ五寸三分壹

肩 國師ハ昔テ終身蘭衣與馬ニ近ズカズト 傳衣ヲ以テ子孫ニ及ホス

枚全斷 傳衣トス

肩 伊達政宗公忠女法舞天麟院殿夫人 御親裁ノ袈裟

肩 女帝明宮ノ御衣ニシテ信禮院殿夫人ノ寄附スル處也 當山百拾四世丹源和尚代御寄附

肩 當山百二十四世持命中興鄧州禪師所有品 貳百年間袈裟寄附ス

面 若狹國主酒井修理大夫忠直公寄進 硯池ノ冠頭 紫潭祥雲ノ四字アリ又裏ニハ數十字ノ銘アリ 岩州土地音波所産數品就中紫石特鮮明堅緞云云 漆器ノ篋ニ收ム

足 伊達綱村公用ヒラレシ品ト云ヒ傳フ

帳 昔シ金盛高雄太夫ノ特品ニシテ天井釣ノ蚊帳ト云ヒ傳ヘ仙台栢山氏ヨリ當山百四世夢庵和尚代寄附

躰 古代ノ人形屋幸右工門ノ作

此御哥ハ慶長十四年五月廿六日瑞岩寺改建棟上ノ節政宗公建臨ニ祝悦ノ余リ詠シ玉ヘシ御真筆ナリ 去今二百八十四年

松鳴乃

本寺の歌

以寺の

寺の歌

寺の歌

寺



伊達政宗公御肖像

肖像ハ兼應元年忠宗公 政宗公君ノ幼少筆 諸書ニシテ 難キ思徳ニ御感ノ余リ京師ノ良匠ニ命シ精神ヲ込メ日限ヲ同ハス御 後東ニハ金銀ヲ鑄テ依テ以テ模刻シ更ニ一層ノ懇用ヲシテ千載ノ下 絶エナキヲ全ノデヨリノ御遺像ナリ 復シ政宗公在命中真家ニ此御像依リ模刻セシメテ 實永十三年五月廿四日薨去 去今二百五十六年

圖丈 四尺三寸

卧龍白梅

實八個、花ニテ八個ヲ結テ
 真ニ不思議ナル花實、狀ナリ
 依テ以テ一八房、梅ト稱ス



伊達政宗公朝鮮國ヲ御持参自カテ御手植ノ梅ナリ
 御本堂庭前左側ニテリ

卧龍紅梅
 實八個、花ニテ八個ヲ結テ
 真ニ不思議ナル花實、狀ナリ
 依テ以テ一八房、梅ト稱ス



伊達政宗公朝鮮國ヲ御持参自カテ御手植ノ梅ナリ
 御本堂庭前右側ニテリ

雲居禪師繪百壽 丈一尺一寸三分 巾一尺五寸三分

初本有圓成國師十四世之的
 孫本源自性禪師之神足雲居
 和尚名聲昭時高行冠世曾受
 先皇恩渥碧玉簾前奏對本源
 全村古佛心宗黑竹篋下撥轉
 正法何憂荒草堆專慈悲喜捨
 乃知獅子窟事禪誦香燈艾三
 賢十聖之稠林主張乎花園風
 月鼓八音四辯之波浪坐斷乎
 松島烟雲智鑑顯赫空門道香
 薰徹禁闕特賜慈光不昧禪師

承應三年二月八日

承應三年二月八日人皇百代後光明天皇自カテ雲居
 和尚、徳ヲ賞メテ繪旨ヲ給リ八文字人皇帝御真筆

辨慶不動明王像



此圖藏於國慶寺
 此當國慶寺
 名推
 來
 松島
 御堂
 折
 至
 瑞安
 大藏
 大藏
 大藏

綱宗公之筆



皇六代綱宗公之筆

伊達三代綱宗公之書畫共二能クセテタリ

雲霞風月鏡中觀 不盡乾坤燈外燈

柳暗花明十萬戶 敲門處處有人聲

舉梁武帝問達磨大師如何是聖諦第一義

磨云不識帝不契達磨遂渡江至魏帝極舉

問志公志公云陛下返還此心否帝云不返

志公云此是觀音大士傳佛心印帝時遂遣

使云請志公莫遣陛下使使去取關關人

去他亦不回

舉僧問巴陵如何是吹毛劍陵云珊瑚拄杖

揮着月

萬斛盈舟信手擎 却因一粒甕各蛇

拈提百轉為公案 檢却時人敬敬誰

實水帶上成子牛仲春彼岸日

春涼山主叶夜子梵淨勝歸

鳴塵軒主汝窮尼了是刺繡

每鴉塵主尼了是刺繡
大 九寸四分
加一尺三寸七分

此ハ是七五色、緝糸ヲ以テ刺繡ニ成ルモノニテ最モ
優美ナリ且シ文字モ又高勝ニシテ墨毛筆筆セリモノニ
異ナラズ

周文之筆

丈四尺三寸
中一尺九寸

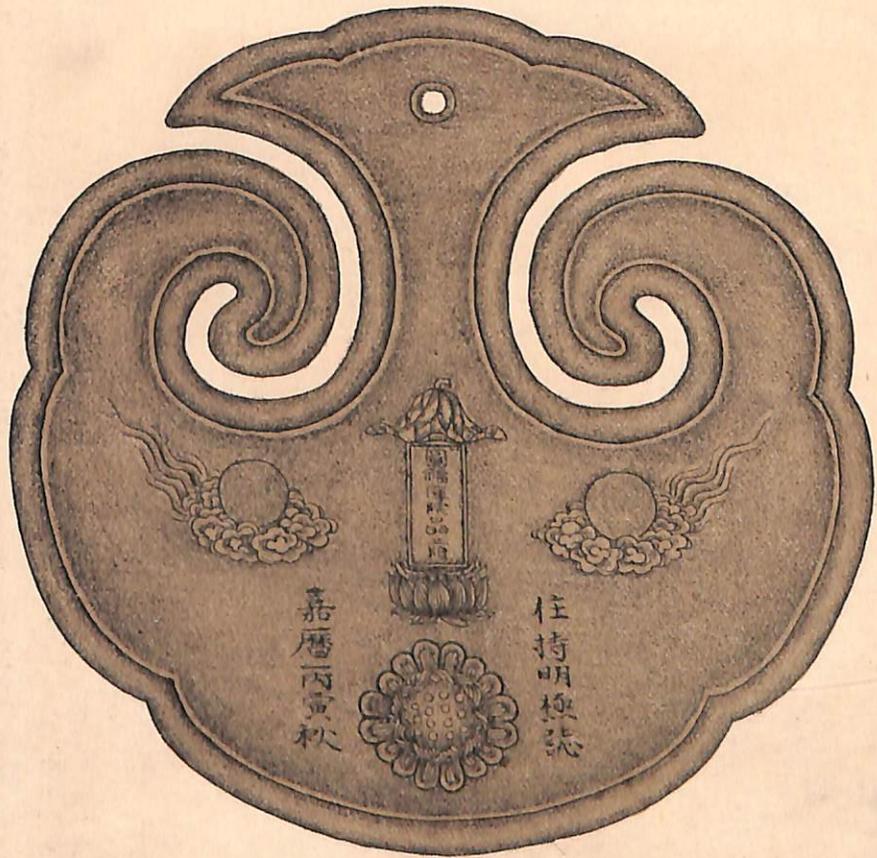


周文ハ近江越溪ノ人春育ト号シ宋人ノ画法ヲ受ケ大ニ世ニ知ラル又越溪周文ト号ス
去今五百二十四年

瑞巖寺中興関山遺偈ニテ万治二年八月八日迄他
ノ前日此偈ヲ書シテ遺セリ去今三百三十二年

後釋迦父出生
先阿逸多舍滅
三十二傳中開
非是來是滅
慈光三昧禪
希摩也
松老雲洞也

雲居國師之遺偈 杖一尺九寸



雲板

唐金ヲ以テ造ラレ
 シ嘉曆年間ノモノ
 ニシテ其当時飯時
 報告ノ爲メニ鳴ラ
 セシモノ蓋シ瑞巖
 寺、往古ヨリ規律
 方正繁栄シテ得道
 ノ淨山タル推シテ
 知ルベキ也

二位宮尾公ハ源賴朝公ノ御令室ニシテ賴朝公御念下リテ佛舎胡數
 個ヲ變去後尾公見佛上人寄送シニ時、御火ナリ去今、六百九十五年

Handwritten text in cursive style, likely a transcription or commentary related to the object above. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines, written from right to left. The characters are fluid and connected, characteristic of the 'sōsho' (cursive) style.

二位尾政子之御真筆

大正二八年三月一日

伊達細宗公、嫡子知名政千代君六歳、御真筆ナリ、右子細村公ト云フ

竹
危

政千代六歳

中丈
二尺六寸二分
一尺一寸九分

狩野守信之筆

大五尺四寸
中二尺五寸



松法忠彦云
云漢蘇芥陶臣
海毛春杜口括
人伴六條坊尾
一拂油乳林
政信正傳三十二
世後元孫後程

探幽齋守信八画法聖舟カ奇蹟ヲ慕フテ更ニ狩野氏ヲ一變シ後チ法眼ニ叙シ
又法印ニ移ル時ニ太上法皇ヲ製ニ成ニ爰ニ詔シテ筆峯大居士ト賜フ

宮本氏ノ擊劍ニ妙ナレバ世ヲ知ル所ナリ西法海軍先生ニ倣之
 象家筆ナリ年六十四歿又 去今二百九十一年



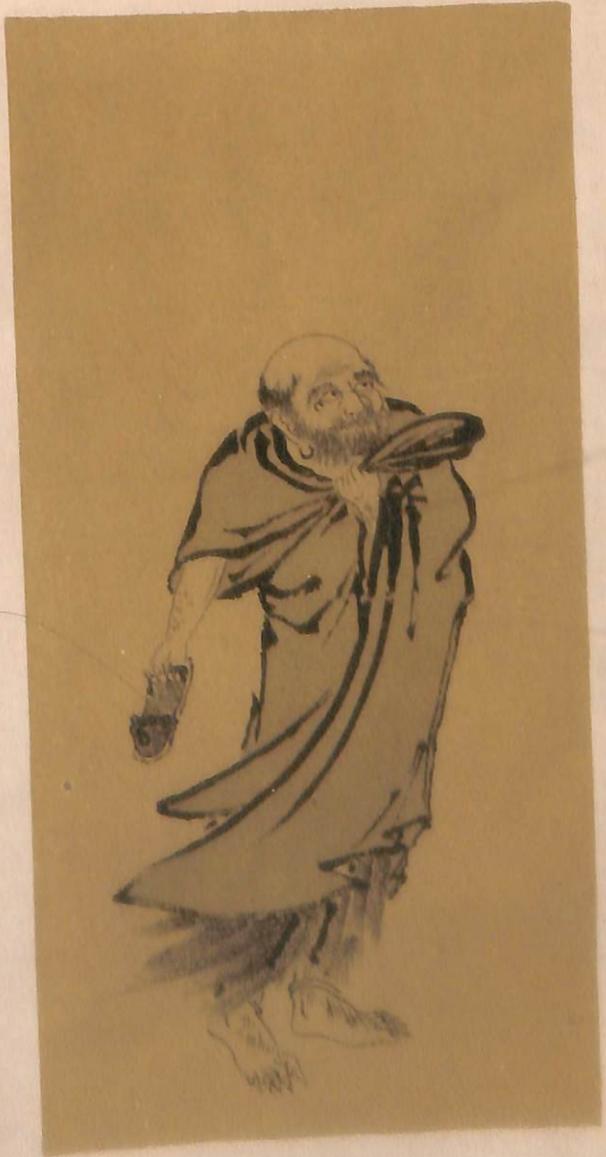
宮本武藏之筆 大三尺一寸 中三尺一寸

いぢりたれはにほへ
 ちりぬるをわか
 らむうろつな
 わまけふのね
 きたゆめあし
 ぬもせす
 ぬ三之五十六七
 八九十百千万億

尊純親王之御真筆

隻履之達广 宋雲之筆

大四尺五寸
中二尺四寸



宋雲之人物表スルハ世ノ知ル所ナルモ本圖如キハ長筆中ノ長筆トイフベシ

觀音菩薩之画像



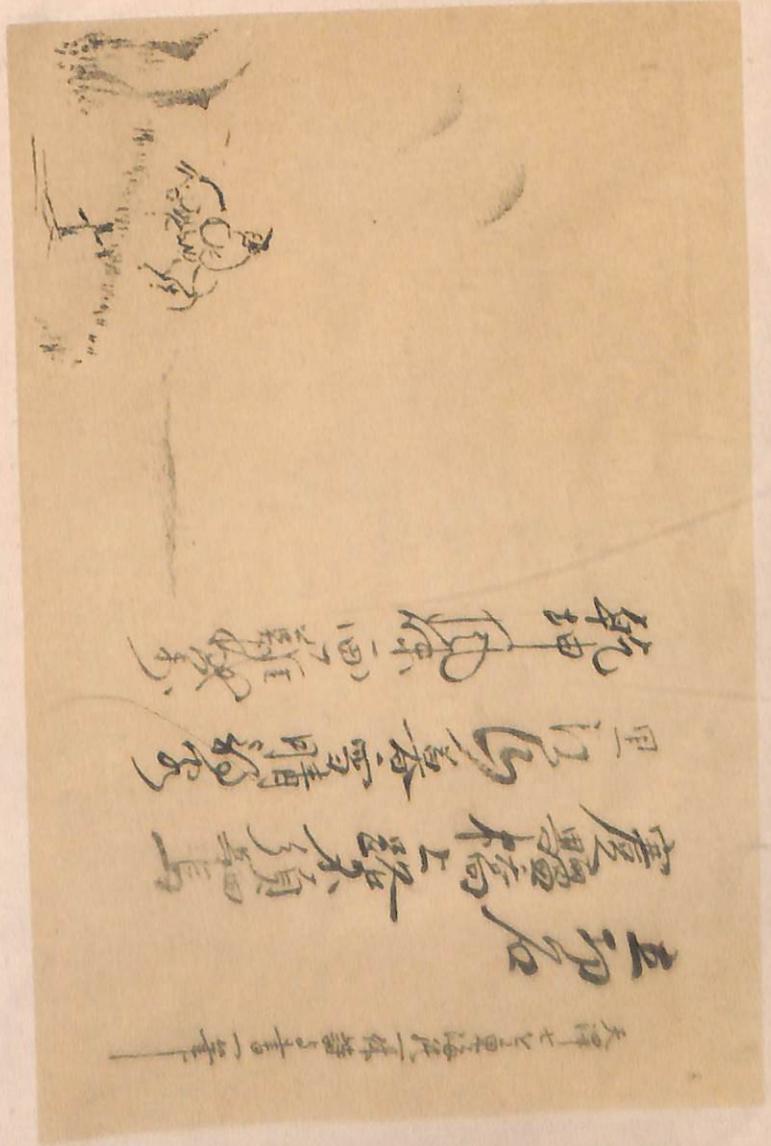
林立内親王之筆

大三尺七寸
中一尺九寸

覺滿禪師之肖像



此是世人知一休法師，自畫自贊，去今五百三十四年



一休和尚之真筆 大正九年 廿二月九日

大正七年東海法華寺書

五印
 震旦橋上
 里山香雪晴
 乾坤

翁 面 能 面



佛工春日作 銘記アリ

松島寺天台宗タリシ時山王神殿ニ於テ神樂ヲ奏スルニ用申シモノニテ嘗テ神面ノ名高ク時々奇蹟アリテ羽場ニ現出セシモノナリト真徳定アラズモ以テ工術ノ著ルシキヲ知ルニ足ル面相莞爾嗚フカ如ク生ケルガ如シ今ヲ去ル年限詳カラザルモ刻々時代ヨリ算スレバ此ヲ十年ニ近シ

此ノ二個ノ面ハ千有餘年天台宗ノ時五大堂ニ於テ神樂ヲ奏スルニ用申タルモノニシテ現今秘藏セル十五個中ノ内ヲ摸畫セシモノ也正和年間ノ作ニシテ中ニ或ハ聊カ損ゼシアルモノ是レ皆妙優ノ手術ニ由ル一頁真ニ迫ルガ如シ

寒山之圖



榮雪之筆 空也上人之賛

大三尺五寸 中一尺六寸

榮雪ノ富筆古今ニ隠レナキハ本國ニ因テモ知ルベキナルカ實ニ本國ノ如キ年月相重ナルニ從ニ國中甚ダ磨滅スルアルモ生筆風勝彰然タリ

狩野守信之筆



探幽齋守信の画法雪舟の奇蹤を慕つて更に狩野氏より更に後于法眼の叙
又法宗に移る時ニ太上法皇ノ御名ニ心シ受テ詔ニ筆ヲ奉大居士ト賜フ

白隱和尚之御筆

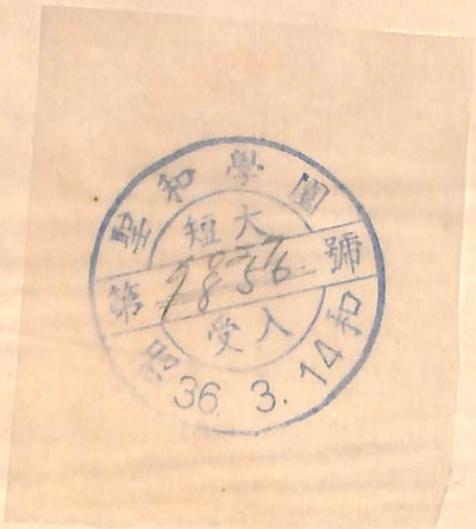


五 百 羅 漢 月 橋 之 筆
 大 六 尺 七 寸
 中 二 尺 三 寸



此世知
 月橋之筆
 百羅漢
 之筆
 其筆
 跡衣服悉
 經文以
 其評測
 勝於實
 尋常比
 アラス

明 治 廿 七 年 十 二 月 二 十 日 印 刷
 明 治 廿 七 年 十 二 月 廿 五 日 發 行



發 行 者
 中 原 披 雲
 宮 城 縣 宮 城 郡 松 島 村 字 松 嶋
 百 三 十 番 地 寄 留 瑞 巖 寺 內
 山 口 縣 平 民

著 者 兼 印 刷 者
 蜂 屋 十 馬
 宮 城 縣 仙 臺 市 國 分 町 三 丁 目
 五 十 四 番 地
 盛 光 堂

